

機械での伐採作業 作業手順

・伐採機械(グラブカッター)を使用した伐木作業

	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の度合	リスク評価	優先度	リスク低減措置
①準備工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の打ち合わせ(KY)活動</li> <li>作業方法の確認</li> <li>作業人員・資格の確認</li> <li>作業位置・規制の確認</li> <li>使用機械の確認・点検</li> <li>保護具の確認・点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全品質作業指示書による。</li> <li>事前調査により立案された作業計画をもとに、職員・責任者間で作業方法等について確認する。</li> <li>伐木講習修了者を中心に編成、各種資格の確認。 バックホウ ⇒ 車両系建設機械技能講習(解体) ヒアブ ⇒ 移動式クレーン技能講習 チェーンソー ⇒ 伐木等特別教育</li> <li>チェーンソー、バックホウ(グラブカッター付)、パッカー車、工具等の点検。 ・ヘルメット・安全靴・高視認性作業服・自発光チョッキ(夜間) ・チェーンソー使用時の保護具 チョップス・チェーンソー用手袋・アームカバー ・カムノコ使用時の保護具 副切削用手袋</li> </ul>						
現場着 ②現場KYの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>責任者/作業員全員にて現地状況を確認する</li> <li>現地状況と作業計画の照らし合わせを行う</li> <li>照らし合わせの結果、作業計画の詳細を決定し従事者へ周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険箇所・構造物・ケーブル露出箇所(架空線・添架配線等)も併せて確認</li> <li>主に、施工範囲・作業方法・作業手順・使用機械・災害防止のための措置</li> <li>切り下げが必要な樹木の選定。</li> <li>計画と異なる事案については担当者と再度打合せを行う。</li> <li>大幅な作業変更となる場合は作業を中止し作業計画の再作成を行う</li> <li>周知事項 施工範囲・作業方法・作業手順・使用機械・災害防止のための措置 危険箇所・構造物・ケーブル露出箇所(架空線・添架配線等)</li> <li>一人作業とならないように人員配置</li> </ul>						
③注意箇所の明示・養生	<ul style="list-style-type: none"> <li>注意すべき箇所の明示・注意喚起を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>露出ケーブルにリボテープで目印をつける。</li> <li>排水溝・マス等にはコンパネ養生する</li> </ul>						
④作業中の滑落・墜落対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>急勾配の法面やC-BOX上等で作業時、滑落・墜落防止対策実施</li> <li>落下物防止対策の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工前に現地を確認し、必要であれば親綱、安全帯等を使用し、滑落・墜落防止対策を行う。</li> <li>トンネル上部など供用車線上で作業を行う場合は落下物防止対策を必ず設置し伐木などの落下防止をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法面から滑落・転落のリスク</li> <li>伐木落下による第三者被害リスク</li> </ul>	4	2	6	Ⅲ	親綱、安全帯の使用
⑤ケーブル付近の伐木作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>※人力での伐採作業手順書による</li> <li>仮設ケーブル付近の伐採を優先し行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブル付近50cmでは機械作業を行わない。</li> <li>大型機械での伐採時ケーブル損傷のリスクありの場合は人力にて切り下げ剪定等を行ったのち機械での施工を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブル切断のリスク</li> </ul>	4	4	8	Ⅳ	作業前の現場確認をする。 ・ケーブル付近50cm程度は手刈り。 もしくは除草剤散布する。
⑥機械による伐木作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐倒木の確認</li> <li>伐採後の機械旋回方向・伐木降ろし場所の決定</li> <li>伐採作業</li> <li>伐採木を揺んだまま旋回動作</li> <li>伐木降ろし場所まで旋回後、静かに伐木を降ろす</li> <li>伐木の玉切り・細断(チェーンソー作業)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支障物の無いことの確認。</li> <li>有資格者による機械操作</li> <li>機械作業時は必ず誘導員(合図者)を配置する</li> <li>機械操作者は誘導員(合図者)の合図の下、機械を操作する。</li> <li>機械操作者と合図者間で伐採後の旋回方向および伐木降ろし場所を確認・決定</li> <li>作業半径内は原則立入禁止</li> <li>作業半径内への立入りは誘導員(合図者)の合図の下、機械停止後に立ち入る。</li> <li>事前に選定した工法で伐倒出来なかった場合は一時中断し、再度作業方法の見直しを行う。</li> <li>決められた方向での旋回を行う</li> <li>合図者は旋回範囲内に作業員がいないか確認し、作業員が存在する場合は操作者に機械停止の指示を出す。</li> <li>高い位置からグラブプルを離さない</li> <li>伐木を降ろし終えるまで、作業員は近づかない</li> <li>チェーンソーは保護具を着用し使用する。</li> <li>伐採木、草木は細かく(1.5m未満)切断する。</li> <li>チェーンソーのキックバックに注意、周辺作業員へ声を掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐倒時の傷害リスク</li> <li>チェーンソーによる傷害リスク 自身・他者</li> </ul>	5	1	6	Ⅲ	誘導員(合図者)の監視の下、機械を稼働する 機械稼働時は作業範囲内に絶対に立ち入らない
積み込み作業・清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒアブによる積み込み</li> <li>※パッカー車への搬込は、【パッカー車積み込み作業手順書】による。</li> <li>積み込み箇所の掃除</li> <li>指定された場所に運搬する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者による機械操作</li> <li>機械作業時は作業範囲内に立入禁止の措置か必ず誘導員(合図者)を配置する</li> <li>車両の駐車は、出来るだけ見通しの良い場所へ置く。</li> <li>積込作業はラバコン側では行わない。</li> <li>小柱・落ち葉の整理</li> <li>トラックの積み荷飛散防止の確認。</li> <li>パッカー車のゲートロック確認。</li> <li>一般道は制限速度で走行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒアブでの積込時作業員との接触リスク</li> <li>枝が跳ね上がり目まげがする。</li> </ul>	4	2	6	Ⅲ	作業範囲内は立入禁止
運搬				2	3	5	Ⅲ	保護メガネ・防護面を使用する
作業終了と後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>終礼の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>切りくず・道具等の放置確認。</li> </ul>						

注意事項

- 現場責任者の指示により作業を進める。
- 高木処理を行うときは、上部の伐採木と親木をロープ掛けをする。(伐採木落下防止)
- 伐倒方向には立ち入らない。
- 介助ロープを取り付け伐倒を行う。
- 伐採木を高所作業車から降ろす場合は、ロープを使用する。(上下で連絡を取合い、合図のもと下ろす)
- 高所作業は安全帯を使用する。
- 規制内での作業開始前「避難場所を定めて、避難訓練を実施する
- 夜間作業時は十分な現場照度を確保する